

## 第9回富山駅周辺整備事業推進協議会 議事録

日 時：平成24年8月30日（火） 13：30～

場 所：富山県民会館 304号室

### ○次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶（富山市神田副市長）
- 3 議 事
  - 1）「第8回（前回）協議会の意見と対応方針」 [資料-1]
  - 2）「富山駅駅前広場・交通広場と高架下空間の機能」 [資料-2]
  - 3）「富山駅駅前広場・交通広場の計画検討と高架下空間のデザイン検討」 [資料-3]
- 4 その他
- 5 閉 会

### ○出席委員

黒川委員、森委員、中川委員、吉田委員、柴田委員、前田委員（中谷委員の代理）、茅委員、山田委員、稲田委員、金尾委員、白倉委員、豆本委員、小竹委員、開口委員、神田委員

### ○挨拶（富山市）

本日はご多忙のところ、第9回目の「富山駅周辺整備事業推進協議会」にご参集いただき、ありがとうございます。皆様方におかれましては、日頃より、富山駅周辺整備事業に格別のご理解とご協力をいただいております。厚くお礼を申し上げます。

ご承知のように富山駅周辺整備は、北陸新幹線建設事業や在来線の連続立体交差事業などの相互に関連する事業を総合的に推進することで、南北の一体的なまちづくりを行い、活力と賑わいに満ちた都市拠点の形成を目指すものであります。

現在、富山駅付近連続立体交差事業については、富山県事業として、JRの北陸本線、高山本線の高架事業が、着実に進められているところです。また、北陸新幹線の建設事業は、鉄道・運輸機構様により進められているところですが、本年11月の富山駅舎の着工に向けて、これも着実に進められているところです。また、市施工になります。富山駅周辺地区土地地区画整理事業については、先月末に旧富山駅ビルの解体工事を終え、今は、南口駅前広場の整地など、本格的な広場整備工事を進めているところです。後1000日足らずになりますが、平成26年度末の北陸新幹線開業を見据えて、今後も各種事業の推進に積極的に取り組んでいく所存であります。皆様方には、一層のお力添えを賜りたくお願いいたします。

本日は、駅前広場、交通広場、高架下空間の機能、計画検討及びデザインについて、ご協議いただきます。特に、デザインについては、3次元シミュレーションによる動画をお示しする予定です。皆様方には、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

## ○議 事

### 1) 「第8回推進協議会における主な意見と対応方針」

【事務局】 (資料説明 資料—1)

【座長】 デザインについては、これからPRに努めるという説明だったが、今まで、PRしていなかったのか。それとも、これから、さらにPRするということか。

【事務局】 デザインについては、これまでも途中段階で色々な形で市民の方への情報提供はしていた。現在、駅舎等の各実施設計が進みつつあり、具体的なデザインを目に見える形で示すことが可能になったので、パンフレットという形で、PRしたいと考えている。

【座長】 対応方針には、「交通事業者と協議を進めている」とあるが、その結果は、出てきているのか。

【事務局】 本日、後で説明する資料2は、交通事業者との協議を踏まえたものである。

【座長】 他に意見が無ければ、資料2の説明をお願いしたい。

### 2) 「富山駅駅前広場・交通広場と高架下空間の機能」

【委員、事務局】 (資料説明 資料—2)

(交通シミュレーション動画 説明)

【座長】 資料2について、質問があれば、お願いしたい。

【委員】 「自由通路からLRTが見えるように」と言うことだが、店舗側からもLRTが見えるように工夫して欲しい。店舗側の壁もガラス張りにして、店舗内の喫茶店等からLRTが見えると、心落ち着く空間になると思う。

【委員】 資料3で説明するが、LRTの軌道空間の壁については、「対向壁」としてデザインの検討をしている。西側の壁は、基本的に下半分をアルミ、上半分をガラスで考えている。ただ、現段階では、どのような店舗や機能が入るか決まっていないと聞いている。ガラスの透過性等については、その施設を見極めながら検討したい。ちなみに「対向壁」については、富山は現在、ガラス工芸等について力を入れていることから、色があり透過性のあるガラス等を活用したいと考えている。

【委員】 資料2の5ページには、タクシー乗り場の場所と台数の表記がないが、教えて欲しい。また、以前の協議会で「バス乗り場の1, 2乗り場も、駅前広場内にできないか」ということを申し上げたが、同バス路線では、富山駅は通過型になるのでやむを得ないということで理解した。また、6ページに現在のバス乗車場4台とあるが、新しいところではどうなるのか、示して欲しかった。

【事務局】 タクシー乗り場は、資料において赤字で「地下道出入口」とある付近になる。その左側に降車が2バース、右側に乗車が2バースとなる。

【委員】 この件は、タクシー協会との協議により、こうなったということか。以前、「台数が少ないのでは」という意見もあったように思うが。

【事務局】 タクシー協会とは、今後の検討となる北口広場でも同程度の台数を確保する等の協議をさせて頂き、今回の計画案を提案させて頂いている。

- 【 委 員 】 同じく5ページの図についてだが、この図は、在来線も高架になった最終形の図だと思う。一方、新幹線開業時は、まだ、在来線は地上に残ると思うが、その時でも市内電車は、新幹線高架下に入るのか。また、将来、現在のマリエ前の電停はどうなるのか。
- 【 事 務 局 】 路面電車は、在来線の高架工事が終わらないと、北側に繋がらないので、富山ライトレールが乗り入れることは無い。新幹線開業時には、南側半分までは、乗り入れできる状況にはなる。ただ、どのような形で乗り入れるかは、富山地方鉄道さんと協議中ではあるが、具体的には決まっていない。
- 【 委 員 】 社内で調整中の範囲で回答したい。マリエ前の電停は、中にポイントがある関係で長い電停になっている。将来、現在の電停は、近隣の方の意見、また利用者の利便性の面からも、何らかの形で残したいという希望はある。ただ、現在のよような長い電停が必要かどうかは、検討する必要がある。
- 【 座 長 】 それは、御社の立場から見て、いつぐらいまでに、方針を決める必要があるか。
- 【 委 員 】 年内には、考えを示す必要があると考えている。市と連携して検討したい。
- 【 委 員 】 今の話は、参考資料のスケジュール表で、軌道の特許申請と連動してくる話と考える。このスケジュールに向けて、特に地鉄さんと調整して行きたい。
- 【 委 員 】 全体としては大変良いコンセプトになっていると思うが、5ページの図で、降車バースが道路の南側に配置されているが、全てのバスがここで、降車するのか。このパターンは、降車後に横断歩道を渡る必要があり、他の駅でも利用者にとって評判の悪い配置なので、確認したい。また、駅前広場において、重要な歩行者動線となるマリエ前が少し狭いように感じるが、幅員はどれだけあるのか。
- 【 事 務 局 】 まず、図のバスバースの配置は、バス事業と運行に関する協議により、バスの運行台数等を踏まえ、円滑な道路交通とすべく、検討しているものである。全てのバスを駅前広場内で集約させると、渋滞を発生させる危険性があることから、降車のみバスについては、図の降車バースの位置での対応を考えているものである。新幹線開業時には、今回の計画で進めさせていただきたいと考えている。
- 【 座 長 】 全てのバスが降車バースで降車するのではなく、場内でも、降車するという理解でいいのか。
- 【 事 務 局 】 駅が終点のバスは駅前広場に降車場は設けない。駅を経由していくバスについては、駅前広場内で降車する。
- 【 座 長 】 さきほどの交通シミュレーションでは、駅の西の方から駅前広場に入るバスもあったが、それは終点のバスではないのが入っているのか。
- 【 事 務 局 】 それは、地鉄バスの車庫から空車で駅前広場に入り、始発となるバスです。
- 【 委 員 】 バスで富山駅に来る相当の利用者は、駅前広場から離れた場所で、降ろされることになる。これはとても評判が悪く、バスが衰退した原因の一つと思っている。これをまたやるのかと思うのだが。

- 【委員】 南側からバスで来た方の行き先はどれも駅ではない方が多いため、新幹線開業時、南側半分ができた時点では、この形にしたいと考えている。並行在来線が完成すると、北口駅前広場が整備され、ここにバス停を設けることになる。同時に、図の左側にある富山駅南北線ができるので、この段階でバスの配置を改めて考えたい。これは一つの案であるが、降車位置をもう少し南において、その上で駅に入れるということもありうると思う。北口広場ができる段階、最終形に向けては、もう少し時間があるので、あらためて検討し、調整していきたい。
- 【委員】 了解した。バス停の位置は、バスの需要に大きく影響するので、しっかり検討して欲しい。近年、駅前の通りと駅前広場の中の両方にバス停を設ける例や、広い交差点では、交差点の前と交差点を曲がった位置の両方に設ける例なども行われるようになった。これらは、利用者の利便性を考慮したものであり、こういった傾向も踏まえて、検討して欲しい。
- 【委員】 2ページでは、軌道面に芝生を張るデザインとなっているが、メンテナンス上の問題があるのであれば、早めに対策を考えた方がいい。また、タクシー、バスへの乗降時の雪への対策を含めての景観デザインにしてほしい。
- 【事務局】 芝生軌道については、資料の2ページのパースでは、芝生軌道となっているが、5ページの図では、軌道部には張っていない。芝生軌道は、景観的に良いが、冬場の問題もあり悩ましい。芝生軌道にするかどうかは、事業者の富山地方鉄道さんと協議し、可能な箇所には張りたいと考えている。また、現在、工事中の南口広場で、空いている箇所にワイルドフラワーを植栽し、芝生に代わる地被植物の実験も行っている。なお、雨、雪への対策、考え方は、資料3で説明したい。
- 【委員】 総合案内所と観光案内所が独立して設けられているが、別々にある理由を教えてください。観光客から見たら、同じ場所にある方が望ましいように思うがどうか。また、駅前広場において、貸し切りバスの乗降は、従来通り北口のみということでのよいのか。その時の利用者の動線は、どうなるのか。
- 【事務局】 総合案内所は、南北自由通路の一番目立つ場所に設置しているが、南北自由通路を見通しの良い空間にするため、必要最小限の規模としている。案内する内容は、観光だけではなく、乗り継ぎ案内等もここで対応したい。もちろん、簡単な観光案内も行うが、詳細については、観光案内所で対応するという考えである。観光バスについては、今まで通り北口のみでの対応とし、新幹線開業時から連続立体交差事業が完成し南北が行き来できるようになるまでの3年間程度は、新幹線への乗換えは既存の地下道を利用して、南口に出てもらう形になる。
- 【委員】 連続立体交差事業が完成すると、南北自由通路により、北口と南口が非常に近くなる。現在、南北移動は、地下道等を通るなど遠く感じるが、将来は、自由通路によりスムーズな南北移動が可能になる。南口広場には観光バスのスペースは設けないが、北口で現在より広いスペースを設けることを想定している。将来は、富山駅南北線も整備されるので、自動車の道路交通環境も改善される。あと、貸し切りバス等の利用者や登山者を意識して、西口トイレを充実したものにしたいと考えている。特に女性の利用を考慮して、グレードの高いもの、話題になるようなものを目指して、検討している。

- 【座 長】 女性のトイレを充実させることには、大賛成である。以前、高速道路のサービスエリアのトイレ利用に関する調査に携わったことがあるが、特に女性の利用者は、利用時間が長く、女性専用の団体バスが来たときはたくさん必要となり、基準作りに苦勞した。ぜひ、良いトイレをつくって欲しい。
- 【委 員】 駅舎のデザインについてだが、資料のパースを見ると正面にひさしが出ているが、その出はどのくらいか。
- 【事務局】 これについては、資料3で説明したい。
- 【座 長】 他に意見が無ければ、資料3の説明をお願いしたい。

### 3)「富山駅駅前広場・交通広場の計画検討と高架下空間のデザイン検討」

- 【事務局】 (資料説明 資料—3)  
(3次元シミュレーション動画 説明)
- 【座 長】 資料3について、質問、意見等をお願いしたい。
- 【委 員】 デザインコードが示されているが、当社のサインの全駅統一の考え方もあり、今後、実務レベルで相談させて欲しい。また、高架下L R T空間の対向壁についての感想だが、当社でも、鉄道高架下の暗さへの対応には苦勞しており、当社ではなるべく壁を作らないという考え方で試行錯誤している。今回、ガラス等で工夫されているが、壁ではなく、東西方向の開放感・一体感を考えてみてはいかがかと感じた。
- 【事務局】 サインは、ラチ内とラチ外で全然違うものというのはおかしいので、できるだけ統一したものにしたいと考えている。これについては、今後、J R西日本と協議させて欲しい。
- 【委 員】 対向壁は完全な壁ではなく、特に南北自由通路側は完全なガラス及びオープンであり、また、照明も明るくし、できるだけ暗いイメージは避けたいと考えている。今後、ご指導いただきながら、検討していきたい。サインについては、通常のサインだけではなく、乗り換え案内等の情報提供システムの導入についても考えている。利用者にどこでどのような情報を出せばいいのかを検討し、最新の情報システムの導入を考えている。従来の方法を踏襲するところと、これに縛られず新しいものを入れていくところについて、相談、調整しながら検討を進めたい。
- 【座 長】 金沢や富山等の状況もわかっているJ R西日本にとって、雪国の冬への対応は、他のJ R西日本管内でも違うと感じられることもあるかと思う。雪の多いところでは、冬はどうしても閉めたいという意見があるなど、他の地域での議論と論調が少し違うこともあるかもしれない。

- 【委員】 雪対策としては、駅前広場では除雪のための消雪パイプを多く使いたいと考えている。また、資料説明で自由通路のデッキの説明があったが、地中熱を使って暖かくすることを考えており、特に椅子を暖めることを考えている。また、議事2の議論の中で、マリエ前の幅員が狭いのでは、という意見があったので、補足説明したい。L R T軌道に沿った部分は、イベント空間としての利用も考えて広くしており、マリエ前は相対的にはご指摘のように狭くなっているが、現在の歩行者交通量では、対応できると考えている。ただ、今後、柱の位置や階段のあり方等の検討により、通路幅員はできるだけ確保したいと考えている。
- 【委員】 先ほどの動画を見て、いろいろな箇所が具体的に検討されていることが分かり、安心した。大規模な駅であり、多様な用途がある施設なので、デザインコンセプトも一元的にする必要がある部分と、違う要素を加えないと退屈する部分を使い分ける必要があると思う。そういう意味では、ゾーンを区切りながら、各箇所にどういう役割のデザインを与えるか等の検討がされており、望ましい方向だと思う。基本的には、シャープでモダンな雰囲気のある箇所と、地場の歴史や伝統的な要素を付加する箇所の両方のバランスにより、全体のデザインコンセプトを構成させているのだろうと感じた。その上で、現代的な要素で行こうとしている箇所と、伝統的な要素を入れる箇所の基本的な考え方について、補足説明をして欲しい。
- 【委員】 新幹線のラチ内は、木や紙を用いた暖かい空間を意識していると思うが、自由通路も、この暖かい感じを踏襲したいと考えている。また、L R Tは、トータルデザインとして、シャープな感じであり、これを踏襲したいと考えている。その上で、高架下のL R T空間でこれらの調和をどう図るかは、課題だと思うが、ガラス壁や天井のテイストを合わせる等で、調和を図りたいと思っている。また、全体として、北側は海に近く、南側は山に近いことから、これは構想段階であるが、北側には深海の色を示す「越碧（こしのあお）」を、南側には、立山の山、野の緑を意識した色彩を、ガラス等に用いて表現したいと考えている。地元の人が感覚的に、富山の風土を感じられるものにしたい。
- 【委員】 そういうバランスを図りながら、検討してもらえればと思う。また、ひさし空間は、冬のことを考えると、構造的なこともあるだろうが、できるだけ多い方が良い。また、6ページの図では、南口広場にたまり空間が示されており、芝生部分が出っ張って囲われた形になっている。たまり空間としては、良いと思うが、駅周辺にある目的地に真っ直ぐに行こうとする歩行者の傾向を考えると、動線を遮る形になるのは少し疑問である。また、図によって、樹木の大きさが違うようだが、植栽についても、今後、十分な検討をお願いしたい。
- 【委員】 ひさしについては、ご指摘の通りである。雪の問題等もあるが、今後も慎重に検討したい。たまり空間については、資料2の5ページにある黄色の線を基本的な歩行者動線と考えて検討している。ただ、バス乗り場の位置によっては、ご指摘のような問題もある。このたまり空間は、L R Tを見るには、非常に良い場所になると思っており、この辺りの修景は、今後の検討課題と考えている。植栽については、落葉樹はL R T軌道への落葉の問題があること、夏場の緑陰等を考慮しつつ、樹木の種類や高さ、緑の量等について検討し、決めたいと考えている。

- 【委員】 特にターミナル駅は、サインが多くなる傾向にある一方、サイン検討は後になるため、「こんなはずでは無かった」という事がよくある。我々も、駅を整備するにあたって、サインや情報は、トータルでやっていきたいと思っている。今回は、良い調整ができると、一層魅力的な空間になると思うので、よろしく願いしたい。
- 【座長】 そういう意味では、在来線と新幹線の駅を同時に整備するというのは、他では無かったケースかと思う。トータルデザインで、総合的な成果を出すことが、この協議会の趣旨であり、よろしく願いしたい。
- 【委員】 シェルターについてだが、端部は横断歩道の前になり、天候の悪い時には、信号待ちでシェルターに入りたがる人もいると思う。多少、広げてもらえると良い。
- 【事務局】 今回、提示できていない検討としては、サインの他に広告の計画がある。空港等には立派な広告が出されているが、今回も一定程度は入れる必要があると考えており、計画検討を始めたところである。今後、鉄道・運輸機構やJR西日本と相談、調整させてもらいながら、進めたい。
- 【座長】 そろそろ時間だが、今日は、貴重な前向きなご意見が多かったと思う。引き続き関係者の調整等を丁寧に進めていただき、良い成果が得られればと良いと思う。
- 【事務局】 本日の協議会は、これで閉会とする。

以上